



5つあるセット面では、カットからシャンプーまでが行なえる。技術が自慢のママ美容師ならではのシャンプーは人気メニュー。

ビューラックス
Beaulax

www.beulax.jp/index.html



3歳と1歳の子供がいるママ美容師、砂原美樹さん。「Coyori店に来てから、ママのお客様も増えました」と話す。

子育て中でも働きやすい環境へ！ 時代に合わせたサロンの変化

静岡県内に4店舗を有するBeaulaxは、今年で創業77年目を迎える老舗サロンだ。

「私がこのサロンに入ったのは、20年ほど前。当時は売り上げに関しても、教育に関してもとても厳しいサロンでした」と話すのは、現在、代表を務める池ヶ谷慎一郎さんだ。

厳しいがゆえ定期的に離職者がいた同店だが、10年ほど前からトップダウンよりボトムアップへ、現在では全員がフラットな関係を保ち、意見を出し合いつつサロンを盛り上げるようになった。

「以前、女性は、結婚や出産で辞めるのが自然な流れという感じでしたが、最近は結婚、出産後も働きたいというスタッフが増えています。当初は、どういう形態で働いてもらうか、どうサポートすべきかわからず、幹部やスタッフと相談しながら、徐々に改善していきました」。

復帰を希望する女性スタッフが働きやすいよう、ひとつの店舗を、日曜を定休日にし、営業時間も18時までとしてリニューアル。『Coyori』という名のそのサロンには、お客様も子供を連れて来られるよう、キッズルームもある。

「Coyoriには3名のスタッフがいますが、うち2名は子育て中のママ美容師です」。

Beaulaxには、ほかにもママ美容師がおり、全店で6名が在籍している。子育てをしながら働きやすい環境を整えたいという池ヶ谷さんの思いが、しっかりと形になってきているようだ。

ママ美容師予備軍への教育も重要に

ママ美容師の復帰環境は、サロン側のサポートはもちろん、ママ美容師本人の熱意も重要だ。

「やりがいも売り上げも、どちらか一方だけでは成り立ちません。うちでは、ママ美容師でもほかのスタッフと変わらない売り上げ目標をもっています。限られた時間で成果を出すために、生産性を上げることを重要視し、お客様の次回予約を徹底するなどしています。そして、何よりお客様への責任感が、またサロンに戻ってきたいという思いになり、それが売り上げにもつながるんです」。

産休・育休の制度も整っているが、休暇に入る前に、売り上げを出し、やりがいを感じていないと復帰に二の足を踏んでしまうことも。

「スタッフの半数以上は女性なので、ママ予備軍のスタッフたちにも、将来のことを考えて、今こそしっかり仕事をするを伝えていきます」。

また、ヘアスタイルはトレンドの影響を受けやすいという面もあるため、Coyoriではシャンプーやマッサージなど癒やし系のメニューを充実させ、プランクのあるママ美容師も復帰後すぐに売り上げが取れるようにしている。

さまざまな工夫や努力。このサロンには、ママ美容師の働き方のヒントがたっぷり詰まっている。



新しい幹線道路沿いに建つCoyori店は、ママスタイリストが2人とアシスタント1人の構成。1畳ほどのキッズ部屋の中には、おもちゃが並ぶ。



Beaulax
代表

池ヶ谷 慎一郎さん